

イコール・ペイ・デイ（2014年4月13日） 全国会議報告



女性が1年を超えて働いて、男性1年分の賃金と同額を手にする日、それが「イコール・ペイ・デイ(=同じ賃金を手にする日)(以下「EPD」という)」。
賃上げ闘争ではありません。男女間の賃金格差を「見える化」して、社会の理解を広げようと世界各国のBPWが取り組んでいる運動です。

第1回 Equal Pay Day 全国会議

男女の賃金格差解消を目指して！

開催日：4月19日(土)13:30～16:30

会場：婦選会館ホールで、

後援：厚生労働省

内閣府男女共同参画局

【第1部】

政策説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局
成田裕紀雇用均等政策課長

【第2部】

基調講演

『男女間の賃金格差の解消のために 職域拡大と管理職登用』

講師：佐藤博樹 東京大学社会科学研究所長

〈概要〉

男女の賃金格差が生じる理由は、継続年数と職階の違いによるものが大きい。

賃金格差を解消するには、

- ①女性が働き続けられるように、各種の両立支援策が必要、
- ②女性が昇進できるように女性の能力開発が必要

これらの政策を実現することによって、男女の賃金格差を解消することは、日本社会を活性化するため

にも大変有意義なことです。

佐藤教授は、私たちのEPDに理論的な根拠を明確に与えてくださいました。

次に全国各地で展開したイコール・ペイ・デイ運動について、旭川、山形、東京、山梨、名古屋、京都、大阪、和歌山、香川、北九州、長崎クラブの会長から報告いただき、盛り上がりました。

次いで、花崎国際委員長から世界のイコール・ペイ・デイ運動について、わかりやすい説明がありました。

最後にアピールを採択し、みんなで記念撮影をしました。



□アピールについて

アピールとEPD全国会議を含む私たちの運動について、名取理事長他役員が、後日、厚生労働省雇用均等・児童家庭局と内閣府男女共同参画局を訪問し、報告と共に協力をお願いしました。(次頁掲載)

特定非営利活動法人日本BPW連合会 2014年EPD全国会議アピール 平成26年4月19日(土)

日本BPW連合会は、2014年EPD全国会議において、次のアピールを採択した。

1. 男女間の賃金格差の大きさに注目！－EPD！
2014年のイコール・ペイ・デイは、4月13日。
男性が1年間に得る賃金を女性は1年では得ることができず、4月13日になってようやく同額になるということに、注目しよう。
2. 男女間の賃金格差を当たり前のことと思わない！－EPD！
日本は、先進諸国の中でも男女の賃金格差が大きい。
男女間の賃金格差を当たり前のこととせず、解消に向けて努力しよう。
3. みんなの協力で格差解消を！－EPD！
* 政府(中央・地方)に協力を求めよう！
* 経済界・市民団体・マスコミ等に、「理解と協力を！」と呼びかけよう！

各地での2014イコール・ペイ・デイ・キャンペーン

【連合会】

2014年4月19日全国会議開催

4月25日 EPD の要望書の手渡し

名取理事長、平松企画委員長、
東京クラブ名誉会長安陪陽子さん

10時、厚労省石井淳子機会均等・児童家庭局長

石井局長には、安藤英樹雇用均等政策課課長補佐が陪席してくださいました。

局長は、平成元年の格差では5月19日だったという統計を興味深くご覧になり、せめて年度内(3月中)にしたいものだと話されました。

11時、内閣府佐村知子男女共同参画局長

内閣府の佐村局長には、小林洋子推進課長、伊藤涼子推進課長補佐が陪席。

EPD の趣旨や、諸外国の運動、特に行政がシンポジウムを行う例などを説明して、今後の協力を求めました。

両局長には、各クラブでの活動を報告し、今後ますます積極的に展開しますとお話しました。

【札幌クラブ】

全体でのアクションはできませんでしたが、各会員の仕事関係、周囲にチラシを配布し説明をしました。

【旭川クラブ】

4月8日、旭川大学短期大学部を訪問し、副学長の藤原潤一教授と佐藤貴虎准教授を訪問して、EPD の趣旨を説明したところ、「女性学」の中で、男女共同参画について取り上げていくことを約束してくださいました。

【山形クラブ】

2013年訪問した部署へ要請文を送付し協力をお願いしました。

【東京クラブ】

4月13日11時半、丸の内に集合。東京駅丸の内側でのチラシ配布及び行幸通りでの写真撮影と賑やかなイベントになりました。厚労省の方も昼休みに参加され、東京クラブメンバーだけでなく、CSW インターンや趣旨に賛同したフェミ議連の矢澤さんやナイスガイも参加。東京駅をバックにした写真は初回からの定点撮影になっています。日曜日ということもあり、遊びに来た人たちの反応やチラシの受け取りは今一つでした。



【山梨クラブ】

2014年4月13日(日)甲府駅北口よっちゃばれ広場にて、午前11時～15時まで、説明看板を立てチラシを配布して説明し、赤いキャンディーを渡しました。

会員は赤い服装で勢揃いし、山梨日々新聞社より取材を受けました。

2014年4月14日(月)に関係機関へ表敬訪問し挨拶しました。山梨県県民生活・男女参画課、甲府市人権・男女共同参画課、労働局雇用均等室。



【名古屋クラブ】

愛知県大村知事と吉本副知事に直接お会いし、EPD についてご説明しました。名古屋市の女性政策各部署を訪問し、チラシを配布し、説明をしました。

吉本副知事が、都道府県別賃金格差を算出し、愛知県がワースト2と発表、地元新聞各紙で大きく報道されました。



【京都クラブ】

京都府議会議員に EPD の意義を伝え協力を要請しました。



【大阪クラブ】

大阪府市民局女性活躍促進担当部長、大阪国際交流センター理事長、大阪市男女いきいき財団常務理事、クレオ大阪中央館長を訪問して EPD の趣旨を説明し、理解を得ました。

他、大阪市女性会議登録団体(26 団体)にチラシとクリアファイルを郵送。

クラブのメンバーが各々、職場・居住地域でチラシを配って PR しました。



【和歌山クラブ】

プレ街頭アピール:4 月 10 日(木)7:00~8:00

JR 和歌山駅前前でテーマカラーの赤いジャンパーを着た会員等 10 名で、EPD 広報チラシを配布しました。

関係先訪問:4 月 10 日(木) 労働局、県庁、和歌山市役所、マスコミ各社など、24 ケ所を訪問し EPD 活動の説明とアピール等

街頭アピール:4 月 13 日(日) 11:00~12:00

JR 和歌山駅前前で、赤いジャンパーを着たクラブ会員等 5 名で EPD 広報チラシを配布しました。

読売新聞・和歌山新報等に掲載されました。



【香川クラブ】

表敬訪問:理事長名の要望書の手渡し

7 日、香川労働局長。10 日、高松市長、香川県知事(総務部長)、高松商工会議所、香川経済同友会、高松青年会議所、連合香川。香川県、高松市へは事前に担当部署へ説明に行きました。

街頭キャンペーン:13 日、三越前にてキャンペーンを実施しました。

【北九州クラブ】

今年を対象をさらに市民と直接触れ合う場や市民活動団体に拡大して以下のようにキャンペーンをしました。

街頭キャンペーン:小倉駅前ペDESTERIANデッキ表敬訪問/①行政関係:北九州市子ども家庭局男共同参画部(部長、課長、係長、一般職員)、北九州市環境局環境政策部環境学習課(課長)

②企業・経済団体:北九州商工会議所(事務局長)、北九州青年会議所(副理事)

③公財・財団・公共団体など:(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(専務理事)、(公財)国際東アジア研究センター(ICSEAD)(理事長)、(公財)北九州活性化協議会(職員)、北九州 ESD 協議会(事務局長)、(財)北九州国際交流協会(会長)

④直接市民とふれあう場や学習・活動団体:北九州市環境ミュージアム(事務局長)、北九州市男女共同参画センター(所長)、北九州市ユースステーション等北九州市市内の市民組織、市民センター、大学サテライトなど、19 ケ所以上に訪問またはチラシを送付して協力を要請しました。



【長崎クラブ】

4 月 9 日、黒崎伸子さんがラジオ番組「With you 男と女笑顔のパートナーシップ」に出演して EPD の趣旨について話しました。

□EPD の推移(前年のデータ※で算出)

2014 年(H26 年)4 月 13 日←H25 年データ 71.35%

2013 年(H25 年)4 月 15 日←H24 年データ 70.85%

2009 年(H21 年)4 月 26 日←H20 年データ 67.76%

1999 年(H11 年)5 月 10 日←H10 年データ 63.88%

1990 年(H 2 年)5 月 19 日←H 元年データ 60.23%

※毎年 2 月に公表される、厚生労働省公表「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者の数字を取り出して計算する。*「一般労働者」とは、常用労働者のうち、短時間労働者を除いたもの。

詳細は、HP 参照下さい。

<http://www.bpw-japan.jp/japanese/epd.html>